

第2学年通信

克己復礼 (第6号)

令和3年3月19日発行
福岡県立山門高等学校
第二学年主任 本園 明宏

保護者の皆様、今年も1年間ありがとうございました。今年度最後の学年通信となります。来年も生徒の活動をたくさん学年通信でお届けしたいと思っています。来年もよろしくお祈りいたします。

学年団ご挨拶

～学年団から、第2学年生徒へ～

今年度はどんな1年でしたか？ 修学旅行... 行きたかったですね。今はただただ残念な気持ちですが、これから3年生をどう過ごすかが大切になってくると思います。私が高校生生の頃、部活動の大会で負けて悔しい思いをしたことがありました。当時は「最悪。」としか思っていませんでしたが、その悔しい気持ちをエネルギーに練習をし、翌年結果が出た時には「あのときに負けて良かった。」と思えるようになりました。「修学旅行に行けなくて良かった」となることは無いと思いますが「修学旅行に行けなかったからこそ...」とポジティブなことが1つでもできれば嬉しいですね。さあ3年生!! 全力で満喫しましょう!!



4月にみなさんと出会ってもう1年が過ぎようとしています。マスク姿の顔しかわからない人もいて、たまにマスクをはずした顔を見ると新しい一面を見たような気になります。「さあ、マスクの下に隠れた熱い思いを表に出す時がきました。これからの1年は、新しい自分になれるチャンスがたくさんあります。」そのチャンスをいかせるかはあなた次第です。山門高校のリーダーとして、様々な場面で活躍して、新しい自分を発見しましょう。みなさんの活躍をとて楽しみにしています。

いよいよ3年生ですね。できなかったこともいっぱいあった1年間でしたが、希望も少し見えてきました。これから3年生として、皆さんが学校行事・進路実現に向けて取り組む姿を1・2年生にしっかり見せてください。覚えていきますか？入学後のオリエンテーションで、クラス全体が大きな声で校歌が歌えるまで、ひとりで歌って校歌を教えてくれた先輩たち。リーダーだけでなく3年生全員が大きな声を出して引っ張ってくれた大運動会。その先輩たちが合格を決めた進路に、後輩もあとに続きます。今できることをしっかりやろう。

先日ある授業で好きな言葉を紹介しました。「人生はショートカットでみれば悲劇でも、ロングショットでみれば喜劇である」...チャールズ・チャップリンの言葉です。落ち込んでもクヨクヨせず人生楽しもうと、昔(たぶん大学生くらい)から自分に言い聞かせてきた言葉ですが、最近はこのようにしています。「悲劇的状況でもそれに耐えて頑張ったからこそ、後で喜劇が待っている。」、つまり「苦あれば楽あり」の精神です。みなさんもいよいよ3年生ですね。目標のために苦しい時期を乗り越えなければいけません、最後はみんなで笑いあいましょう。

私にとって本年度の一番の思い出はマラソン代替大会です。校長先生が走られたこともあって、そのことに君たちは心が動き、ほぼ全員自己新記録を出しました。これは本当にすごいことです。それを見て、私も君たちの力を少しでも引き出したいと思いました。来年度は受験ですが、自分の可能性を信じて最後まで諦めず、自分の夢を叶えてください。

休校が明けて皆さんと初めて会ったときは、転校生のような気持ちで、1年生の時を知らない学年に溶け込めるだろうかと不安もありました。しかし、2年生の皆さんはほとんど明るく優しい人が多くて、すぐに学校が楽しくなりました。私はその朗らかに日々を過ごしている皆さんが大好きですが、来年はリーダーとして活躍する姿や、それぞれの目標に向かって必死になる姿も見られたら良いなと思います。私も皆さんの夢実現に向けてできるだけの援助をしていきたいと思いますので、共に悔いのないよう到来年度も頑張りましょう!

4月からは最上級生の3年生となります。進路実現、諸行事における後輩たちへのリーダーシップの発揮と果たすべきことが多くなります。これまでの学校生活の中で培ったものを自分らしく発揮できれば何事もうまくいくと思っています。そして最後は大きく成長した皆さんの姿を期待しています。新型コロナウイルスで様々なマイナスの影響がありますが、気持ちを一つにして乗り越えてきたことを糧にし、常に前を向き何事も成功することを信じ突き進んでほしいです。

いよいよ高校生活総仕上げの学年です。既に目標が定まっている人が多いと思いますが、準備はできていますか？いっになっても基礎・基本が大事です。勉強においては、基礎ができていからこそ応用が成り立ちます。学校生活でも、挨拶や掃除など基本的なことを徹底し、最上級生として後輩たちの手本となる行動を心がけてください。1年後胸を張って卒業できるよう、悔いの残らないようにこの1年を過ごしてください。

1年間、みんなと一緒に過ごすことができとても楽しかったです。明るく優しく元気な2年5組、本当にありがとう。授業で関わったみんな、国語が苦手な人もいただろうけれど、頭を突き合わせて話し合い、自分たちで答えを出していたね。みんなのおかげで、協力することの大切さ・美しさを、私のほうが学んだよ。「心」の美しさは、一生の宝物。それを大事に、自分の周りを暖かく照らしてね。

21世紀最大の危機ともいえるコロナ禍の中、誰も罹患する出なく平穩に山門高校が再開し、遅ればせながら授業や部活動ができてよかったと思います。修学旅行が中止になったことがしかたがないことですが残念でした。先輩方が活躍されている企業への訪問は山門の修学旅行でしか味わえない行事でした。コロナ禍が明けたらぜひ日本の中心である東京へ行って見識を広げてほしいと思います。地方で活躍することも大事ですが人生一度ぐらいは「全国」いや「世界」の舞台に立つのもいいと思います。大学進学はそのチャンスです。志を高く来年度(3年生)をすごしてください。

マラソン大会代替大会

らん・らん・RUNにんぐー!

2月2日(火)に予定していたマラソン大会の代替大会として、校内でタイムトライアル式の大会を行いました。ほとんどの生徒が自己最高タイムを出しました。競い合う仲間がいるとお互いが成長し合えることを実感できたと思います。みんな本当によくがんばりました。



男子
個人の部
学校1位
古賀慶也くん

クラス対抗の部
2位: 2年2組
3位: 2年1組
4位: 2年3組

個人の部 入賞者
2位: 乗富章光 くん
6位: 下川育真 くん

2位: 永江かおり さん
4位: 池上令奈 さん



7位: 田中英輝 くん
9位: 坂田響 くん

6位: 江口未桜 さん
8位: 釘嶋奏葉 さん
10位: 鮎川綾乃 さん

山門LABO

1月16日(土)と2月27日(土)に理数コースの山門LABOを行いました。16日の土曜日は正多角形の性質について学び、最終的には正五角形の作図を学習しました。論理的思考力ゲームは、後輩とともに論理的思考力を高めるゲームをしました。

正多角形の性質パート2!

論理的思考力ゲーム!



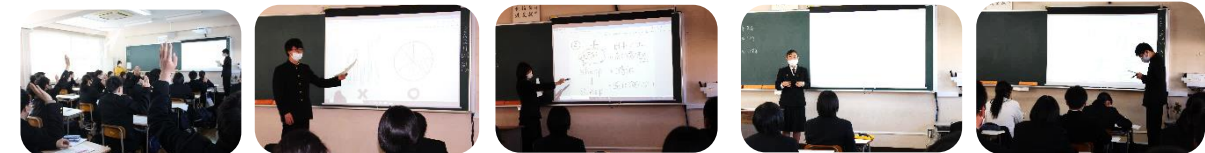
最後はみんなで記念写真。来年もかがやけ理数コース!



探究発表会

火曜の7限の時間に、半年以上の長期にわたって行った探究活動。その集大成として、2月から3月にかけてはクラス代表者決めや発表会を行いました。

①クラス代表者決め 2月の下旬に、各クラスでクラス内発表会を行いました。クラス代表者に選ばれば、3月16日の代表発表を行うことになっており、みんな真剣に発表しました。



②KP発表会 2月18日に全員が探究内容の発表を体育館で行いました。最後の全体発表会でしたので、全員が最後の集大成となる発表を行うことができました。



③クラス代表者発表 各クラスの代表者の発表を事前に録画し、それを3月16日に学年みんなで見ました。さすが各クラスの代表、どれも素晴らしい発表でした。



1組代表の吉武未来さん
テーマ「ICT端末×保育
新しい保育を！！」



2組代表の松葉友花さん
テーマ「子ども達のために」



3組代表 三小田汐里さん
テーマ「夢をみる条件は
あるのか」



4組代表の田中朱音さん
テーマ「音楽療法を使った
地域活性化」



5組代表の森山麻衣さん
テーマ「日本と海外の文化
・性格面での共通点と相違点」

マイプロメンバー発表テーマ！
3組 北嶋 友葉
「香辛料でみやま市を活性化させよう！」
4組 高口 舜可
「歌と音楽 人に伝えるとは」
4組 古賀 朋代
「色の心理効果と活用」
4組 田中 朱音
「音楽療法を使った地域活性化」
4組 原 絢音
「性～共生社会を実現させるために～」



マイプロジェクトアワードとは、探究活動を実施した全国の高校生が探究活動を報告しあう大会です。今回、この大会に応募した高口舜可さん、北嶋友葉さん、原絢音さん、古賀朋代さん、田中朱音さんの5人が九州大会に出場し発表してきました。九州大会は2月21日の日曜日、コロナ対策のためにオンライン発表で行われました。



ドラマだけを語れ。

NIE活動

社会に対して、自分たちの意見を発信する。そうした目標のもと、時事問題等に関して2学年全員で意見文を書き、各新聞社に送りました。学年通信では、新聞に掲載された生徒達の文章を紹介していきたいと思います。なお、NIE (Newspaper in Education = 「エヌ・アイ・イー」)とは、学校などで新聞を教材として活用する活動です。



「将来世代負担原発やめよう」 2年2組 野田 萌々花 (「西日本新聞」R3 1月26日 火曜日 掲載)
「3・11」。震度7の強い揺れ、一瞬にして町をのみ込んだ津波、福島第1原子力発電所の事故。日本人はこの日付を決して忘れてはいけないだろう。
現在、原発の高レベル放射性廃棄物の処理問題が起こっている。放射性物質が十分に減るまで10万年以上隔離する必要があるものも存在する。国はこの廃棄物を地下300メートルより深い岩盤に埋めようとしている。
現代の問題は改善されるだろうが、将来世代がいつまでも管理し続けなければならない。その管理のため必要な人材や技術を維持し続け、長い間多額の費用がかかる。
将来に負担をかける原発はやめ、風力や太陽光、水力など自然から生み出される「クリーンエネルギー」をもっと利用すべきだと思う。
これからも原子力を利用し何十年、何百年、何千年それ以上もの間負担するか、クリーンエネルギーを改良して自然とともに生きていくか。地球に住むすべての人が考えなければならないことだ。



「高校の義務化」 2年2組 金子 未歩 (「西日本新聞」R3 2月2日 火曜日 掲載)
「高校生はお金がかかるね」。高校の教科書を買に行ったとき母が言った。小学校、中学校と教科書が配布されるのが当たり前で教科書の値段など気にすることがなかった。しかし、高校の教科書の総額が記された紙を見て驚いた。「教科書ってこんなにするんだ」
日本は小中学校の9年間で義務教育だ。教科書も無償で提供される。私は高校も義務教育にするべきだと考える。経済面の負担を理由に学校に行くことを諦めてほしくないからだ。
アルバイトを禁止している高校もあり、自分で稼ぐことができない申し訳なさから進学をしない人もいよう。学びたいのに学べない。その状況が一番悲しい。みんな平等に学習する権利があると思う。私たちが学校に通えていることに感謝し、一日一日を大切に過ごしていきたい。



「読書するなら本でなくて」 2年2組 坂口 凜 (「西日本新聞」R3 2月12日 金曜日 掲載)
読書をする際に紙の本にしようか、電子書籍にしようかという悩みを持つ人が増えている。私は紙の本がよい。手に取るだけで簡単に読むことができる。電子書籍はアプリをインストールし、会員登録してログインし書籍名を検索して購入しなければならない。確かに、書店へ行ったりネットで購入し自宅に届くのを待たずとも、電子書籍を購入する方がより簡単で楽だ、という考えもあるだろう。しかし、紙の本なら書店で手に取って内容を少し読んだり、図書館で借りて無料で読んだりした後に購入を決めることができる。
何度も読んで本を手放そうとしたときは古本店に売ることができる。金銭的にも電子書籍より紙の本の方が負担が軽い。紙の本にはさまざまなメリットがある。読書のツールは紙の本の方が電子書籍よりもよい。



「SNS考えて投稿を」 2年3組 黒田 花凜 (「読売新聞」R3 2月22日 月曜日 掲載)
他者の中傷するインターネット上の投稿が、たびたび問題となっています。中傷を受けて亡くなる方もいて、悲しいです。各SNSの利用規約には嫌がらせの禁止などが明示してありますが、実際には悪質な投稿は野放しに等しいように感じます。相手に面と向かっては言えないようなことは、ネット上でも絶対に書くべきではないと思います。投稿する前に、自分の言葉がどれだけ人を傷つけるのか、周囲にどんな影響を与えるのかをよく考えることが、大切ではないでしょうか。



「みやま市の祭り」 2年4組 田中 朱音 (「有明新報」R3 3月2日 火曜日 掲載)
私の地域では江浦町祇園祭や、みやま納涼花火大会が毎年開催されている。祭りに行くと浴衣を着た大勢の人がいて、花火が上がると、屋台も出る。年に1度のお祭りを楽しみにしている人も多い。
だが去年は、祭りがなかった。新型コロナウイルスの影響である。4月に緊急事態宣言が出され、学校は休校になり、楽しみにしていたことができなくなってしまった。私は今高校2年生だから、2学期には修学旅行もあるはずだった。だが、それも延期。友達とはしゃぐたいのに会うことさえできない。宣言が解除され、日常生活が戻ってくると思いきや、いろいろなことが制限され、すごく心が暗くなっている。
そんな時、元気をくれたのが祭りのときに打ち上げられる花火である。みんなにエールを送るために上げられた花火は、「明日も1日頑張ろう」や「明るく楽しいこう」などという気持ちを持たせてくれた。その時に、「祭りってすごいな」と思った。どんなに明るくても心のどこかには寂しいなどという感情が私にはある。だが、そんな気持ちを1発で晴らしてくれるのが、祭りのおはやしや、屋台の明かり、みんなの楽しそうな声、そして美しい花だ。
現在みやま市では、祭りの数が年々減っていつている。これからも伝統ある、元気をくれる祭りを守るために、積極的に祭りに参加していきたい。



「有明海」 2年3組 壇 亮太 (「有明新報」R3 3月8日 月曜日 掲載)
私はよく、有明海の三池港に父に連れられて釣りにかよっていました。ほとんど有明海で釣ってましたが、時々別の海に行くこともありました。しかし、有明海と他の海の違いを気にしたことがありませんでした。
ある日、私が友人と釣りに話をしているとき、有明海の話になりました。有明海は他の海よりも汚れていると友人は言いました。私は、今までこのことを意識していなかったので、釣りに行ったときに意識してみました。すると、少なくとも私が釣りにしている堤防の海は、汚れているような気がしました。砂浜がありましたが、誰も泳いでいないような気がしました(季節が悪かったり、そもそも泳ぐ場所ではないのかも)。私は、どうすれば有明海がきれいになるのかを考えてみましたが、近くに多くの工場があるので、とても難しいと感じて、それ以上の考えができませんでした。
今、私は有明海の近くのごみを拾っています。結局、有明海をきれいにする方法は思いつけませんでした。なので今は、自分の考えで思いつけて、自分の力でできるごみ拾いをやっています。同じ釣りの人の残ったごみが多くあるのが少し気になりました。このことが少しでも有明海がきれいになることに役に立てばいいと思います。